

Genie®

操作説明書
メンテナンス情報付属

Third Edition
Fourth Printing
Part No. 82500JA

S™-40
S™-45

7190 ～ 9752

重要

本機械を操作する前に、操作説明書に記載されている安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。 トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。 質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
安全規則 1
操作 8
操作前の点検 11
メンテナンス 13
機能テスト 17
作業場の点検 23
操作手順 24
輸送およびリフトの手順 29
ステッカー 32
仕様 36

お問合せ先：

インターネット： http://www.genielift.com
電子メール： techpub@genieind.com

Copyright © 1994 Genie Industries

初版： 初刷 1994 年 2 月
第 2 版： 第 8 刷 2003 年 2 月
第 3 版： 第 4 刷 2011 年 2 月

「Genie」および「S」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

♻ 再生紙使用 L
Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書に記載されている機械を安全に操作するための原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品の使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

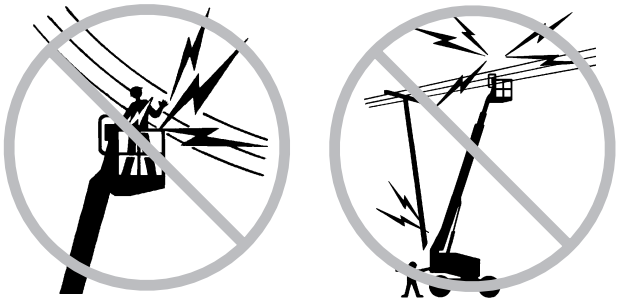
☑ 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が安全に機械を操作するための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械は**絶縁されていないため**、電流に接触したり、近接すると**危険です**。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧範囲	安全上の最短距離メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.05
50KV~200KV	4.60
200KV~350KV	6.10
350KV~500KV	7.62
500KV~750KV	10.67
750KV~1,000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。 地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

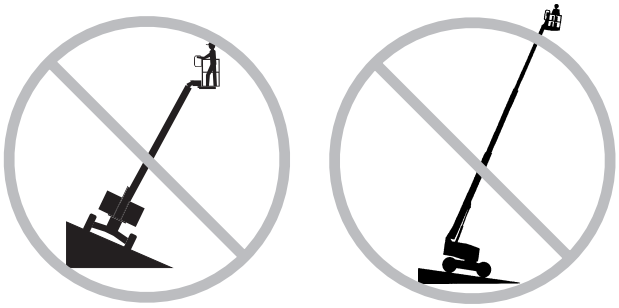
暴風や雷のときは機械を操作しないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは伸長しないでください。

傾斜レベルの指標として傾斜アラームに依存しないでください。 傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴なった場合：
ブームを水平より高く伸長、旋回、あるいは上昇させないでください。 作業台を上昇する前に、機械をしっかりとした平らな地面に移動してください。 作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。 下降中は、ブームを旋回しないでください。

挟まったり、引っ掛かったり、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。 全員の作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

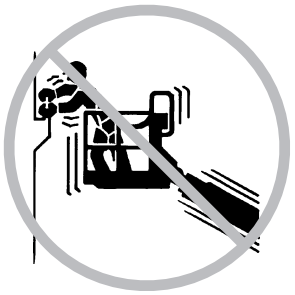
強風や突風の中で機械を操作しないでください。 作業台や積載床面の表面を大きくしないでください。 風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。





収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、あるいは他のブームを上昇または伸長するには危険な状況、またはその近辺では、機械を走行しないでください。



作業台の外側にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大
側方圧力 - ANSI & CSA
667 N

最大
側方圧力 - CE
400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。 機械の安定性と安定性に影響します。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。 道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積載床面の表面を増大させます。





機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

作業台にはしごや足場を組まないでください。 また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、タイヤに適切に空気が入れられていること、およびラグナットが適切に締められていることを確認してください。

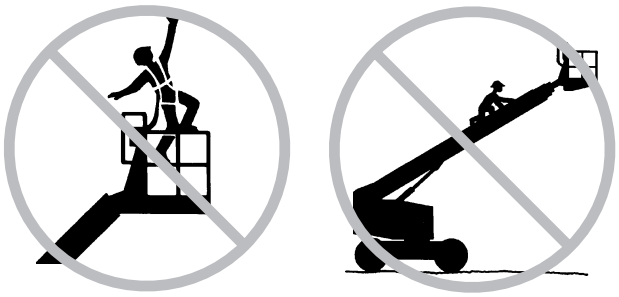
安全規則

落下の危険



法規に従って、作業員は安全ベルトやハーネスを着用しなければいけません。 安全帯を作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。 作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

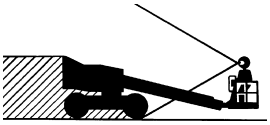


作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

衝突の危険

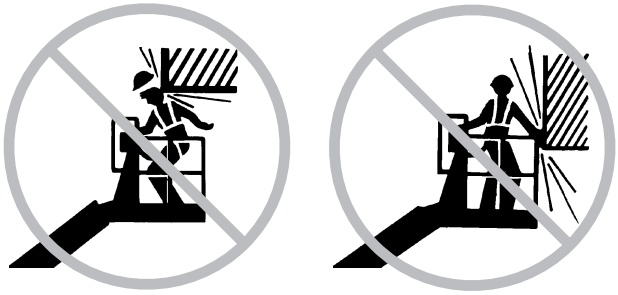


走行または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置や後方車体の揺れに注意してください。

作業員は、安全装備に関して従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことをチェックしてください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

走行やステアリング機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色別された方向矢印をよく見ながら操作してください。

ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめください。



地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンの軌道上においても、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動するには、12 ボルトより高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

爆発と火災の危険

LPG ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの交換は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広く換気された場所で行ってください。

危険な場所、および可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテルのスプレーをかけないでください。

機械の故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。 損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

安全規則

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。 空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

一酸化炭素中毒を避けるため、よく換気された場所で常に機械を操作してください。

カバーされている部品に不適切に触れると重傷を負うことがあります。 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。 オペレータは、これらのコンパートメントについて作業前の点検だけを行ってください。 機械の操作中、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには、酸が含まれます。 バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。 バッテリーは爆発性ガスを放出します。

感電の危険

電気端子に触らないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています：



安全警報シンボル－作業員にケガの危険があることを知らせます。 ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

⚠DANGER

赤－差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠WARNING

オレンジ－危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠CAUTION

安全上の警告シンボルを伴った黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

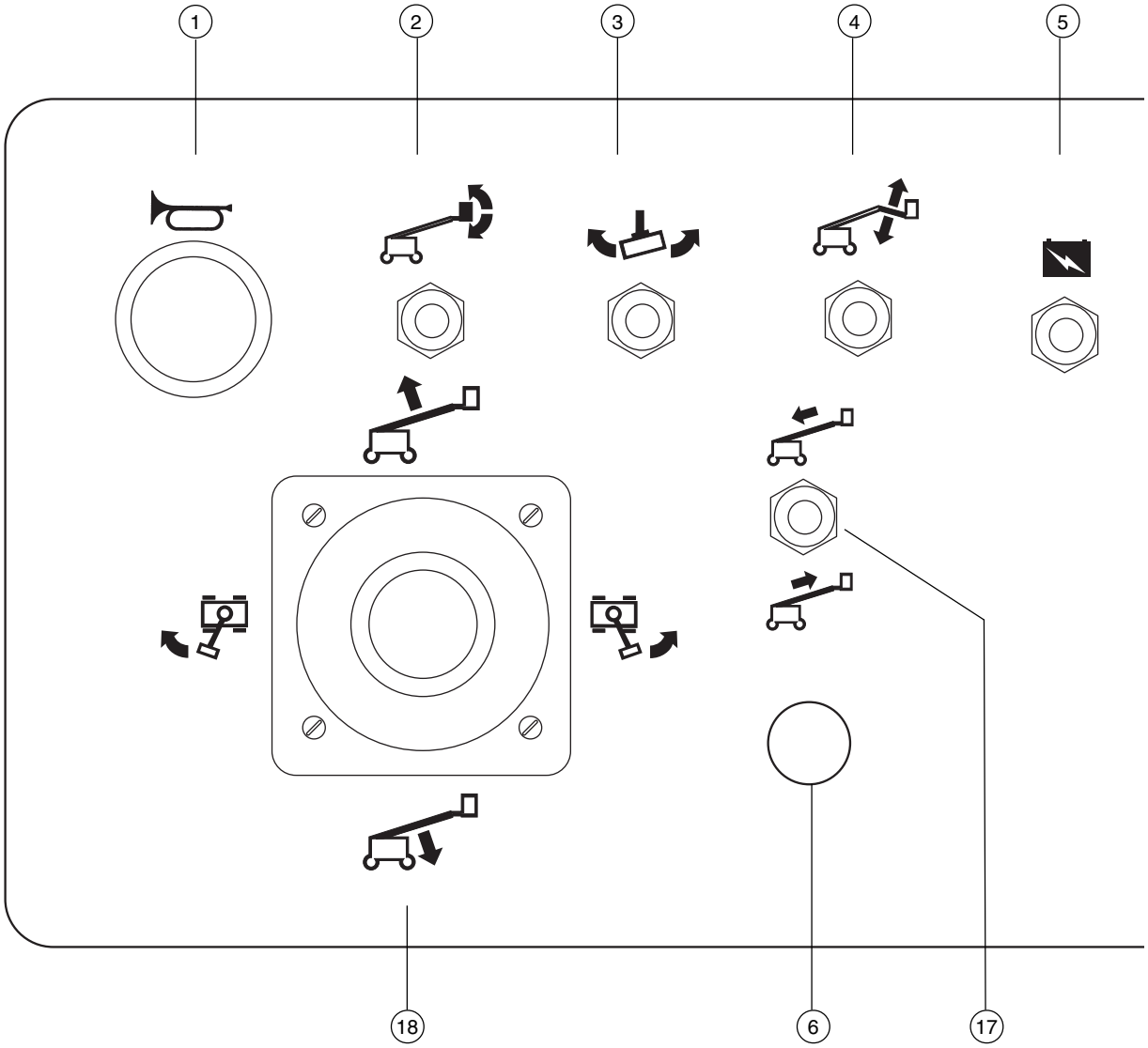
CAUTION

安全上の警告シンボルがない黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

NOTICE

緑－操作方法またはメンテナンス情報を示します。

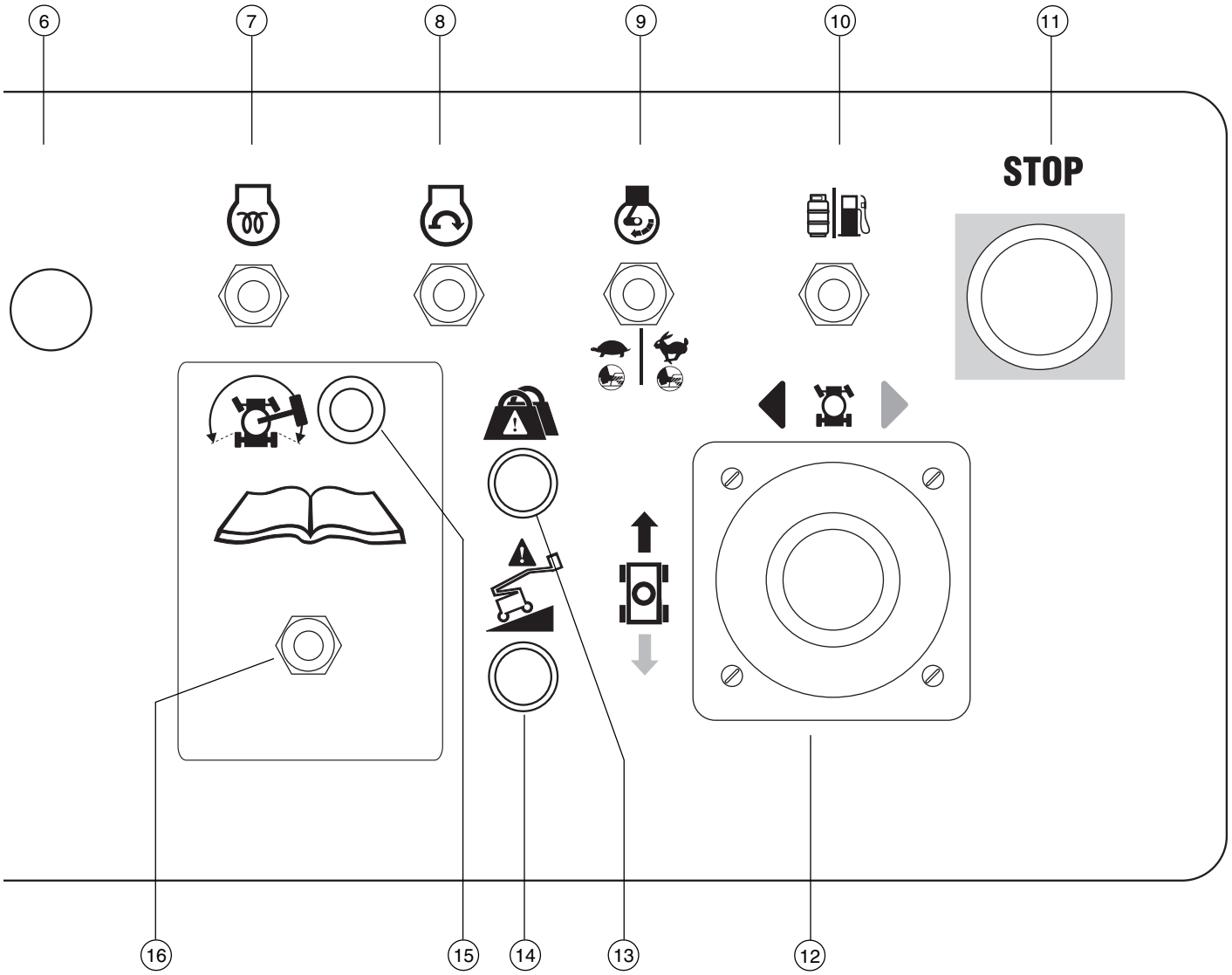
操作



作業台操作パネル

1 ホーンボタン
2 作業台レベルスイッチ
3 作業台回転スイッチ
4 S-45 モデル：ジブブーム上昇/下降スイッチ
5 補助動力スイッチ
6 オプション装備
7 Deutz ディーゼルモデル：グロープラグスイッチ（オプション）
Perkins モデル：グロープラグ表示ランプ
8 エンジン始動スイッチ
9 エンジンアイドリング (rpm) セレクトスイッチ
- カメのマーク：ペダルスイッチによる低アイドリング開始
- ウサギのマーク： ペダルスイッチによる高アイドリング開始

操作



10 ガソリン/LPG モデル：ガソリン/LPG セレクトスイッチ

11 赤色非常停止ボタン

12 走行用比例コントロールハンドルとステアリング用ロッカー、または走行とステアリング用ダブル軸比例コントロールハンドル

13 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)

14 傾斜表示ランプ (搭載する場合)

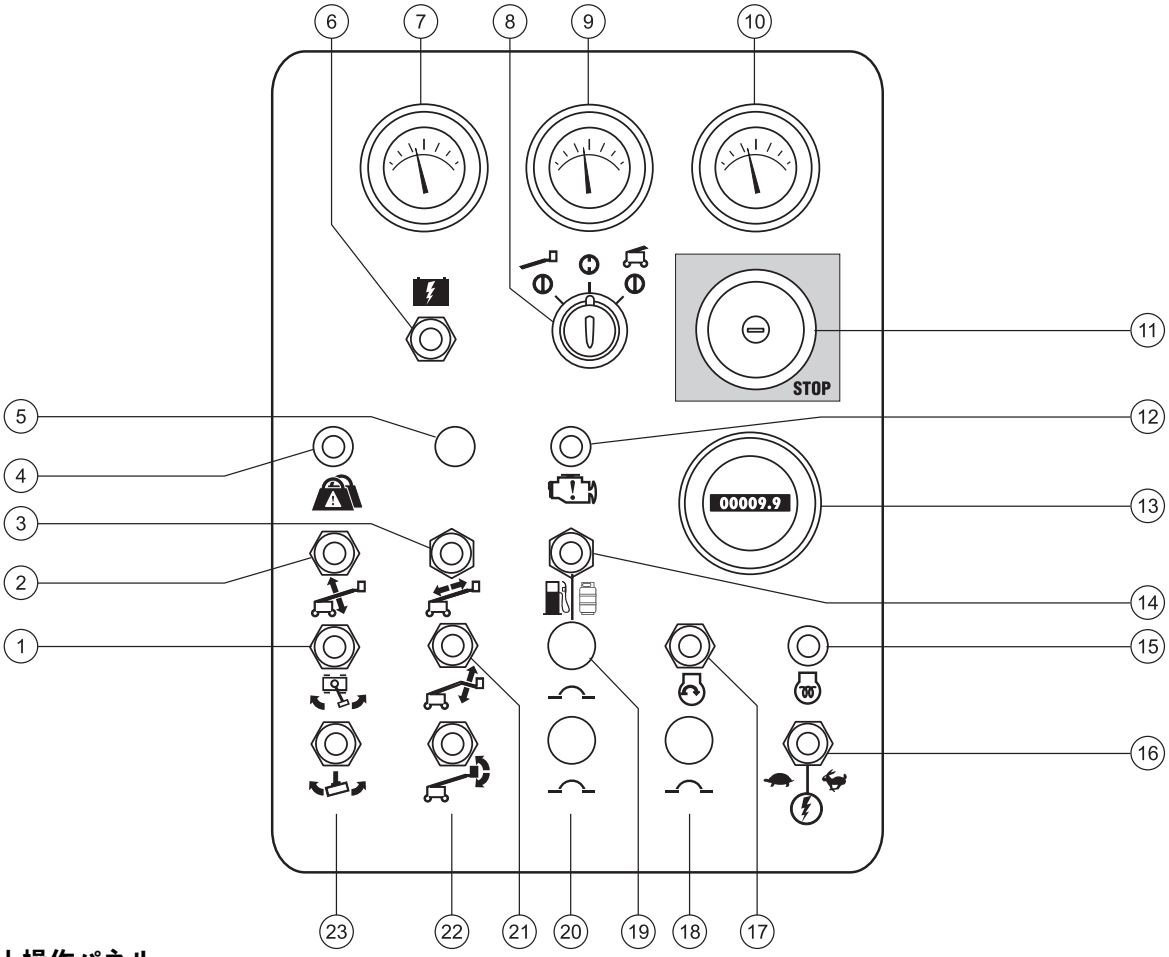
15 走行機能表示ランプ

16 走行機能スイッチ

17 ブーム伸長/収縮スイッチ

18 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回用、ダブル軸比例コントロールハンドル

操作



地上操作パネル

1 ターンテーブル旋回スイッチ
2 ブーム上下スイッチ
3 ブーム伸長/収縮スイッチ
4 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)
5 非使用
6 補助動力スイッチ
7 ガソリン/LPG モデル： 水温計
ディーゼルモデル： 油温計
8 作業台/オフ/地上 セレクトキースイッチ
9 油圧計
10 電圧計
11 赤色非常停止ボタン
12 ガソリン/LPG モデル：エンジンをランプ
13 時間計
14 ガソリン/LPG モデル： ガソリン/LPG
セレクトスイッチ
15 Deutz ディーゼルモデル：グロープラグ
スイッチ（オプション）
Perkins モデル：グロープラグ表示ランプ
16 機能作動スイッチ
17 エンジン始動スイッチ
18 エンジン電気回路用 15A ブレーカー
19 オイル冷却器とオプション用 20A ブレーカー
20 制御電気回路用 15A ブレーカー
21 S-45 モデル：ジブブーム上昇/下降スイッチ
22 作業台レベルスイッチ
23 作業台回転スイッチ

操作前の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定のメンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。 この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、メンテナンスが必要かどうかを判断します。 オペレータは、この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみ行なってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

もし損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。 修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置あることを確認してください。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❏ エンジンオイルの漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。 必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。 必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックしてください。 必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ タイヤの空気圧が適切かどうかをチェックしてください。 必要に応じて空気を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください：

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❏ 燃料と油圧タンク
- ❏ 走行とターンテーブルのモータ、および走行ハブ
- ❏ ブーム磨耗板
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ エンジンと関連部品
- ❏ リミットスイッチと警報
- ❏ アラームとビーコン（搭載する場合）
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体をとおして以下をチェックします：

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷

- ❏ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- ❏ 点検が終了したら、コンパートメントのすべてのカバーがしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

☑ オペレータは、この説明書に記載してある通常のメンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意 以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために本マニュアルで使用されています。 メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

この手順を行う前に、エンジンが常温でなければならないことを示しています。

エンジンオイル量の点検

エンジンの高性能を保ち、長持ちさせるために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。 不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意 オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。 必要に応じてオイルを足してください。

Ford LRG-425 EFI エンジン	
オイルタイプ	10W-40
オイルタイプ - 低温の状況	10W-30
API サービス分類の SH または SG グレードに対応するオイルを利用してください。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	
Ford LRG-425 EFI エンジン (EPA 準拠)	
オイルタイプ	10W-40
オイルタイプ - 低温の状況	5W-30
Deutz F3L 1011F エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温の状況	10W-40
エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE または CC/SF グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	

メンテナンス

Deutz F3L 1011F エンジン (段階 II)	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温の状況	5W-30
エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE または CC/SF グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	
Deutz F4L 1011F エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温の状況	10W-40
エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE または CC/SF グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	
Perkins 704-30 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温の状況	10W-30
エンジンオイルは、API サービス分類の CF4 グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	
Perkins 404C-22 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温の状況	5W-20
エンジンオイルは、API サービス分類の CF4 グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。 作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。 点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。 必要に応じてオイルを足してください。

⊙ 結果： 作動油の量は、表示計の上から 5センチ (2インチ) 内である必要があります。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

エンジン冷却液の量の点検 -液冷モデル

エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。 冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。 点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化がある場合には、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

⚠ 要注意 熱傷の危険 熱くなっているエンジン部分や冷却液に注意してください。 熱くなっているエンジン部分や冷却液に触れると、火傷を負うことがあります。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果： 液の量は、FULL（満タン） マークを指している必要があります。

注意 ラジエーターのキャップを外さないでください。

バッテリーのチェック

エンジンの性能を保ち機械を安全に操作するには、バッテリーが適切な状態であることが重要です。 液量が適切でなかったり、ケーブルまたは接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。 熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。 指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

⚠ 警告 人体への障害の危険。 バッテリーには酸が入っています。 バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットがしっかりと締められていることを確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップをとります。

5 バッテリーの酸の量をチェックします。 必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。 このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

注意 端子プロテクターと腐食防止シーリング剤を加えると、バッテリー端子とケーブルの腐食の防止に役立ちます。

メンテナンス

タイヤ空気圧のチェック

注意 この手順は、フォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

⚠ 警告 人体への障害の危険。 タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

⚠ 警告 転倒の危険。 パンクしたタイヤを一時的に修理する製品を使用しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。 必要に応じて空気を入れてください。

タイヤ空気圧	3.1 バール
ハイフロテーションタイヤ空気圧	2.6 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。 オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。 故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。 機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

機能テスト

1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。

地上操作

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果： ビーコンが点滅します (搭載する場合)。

4 エンジンを始動させます。 「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能はなにも作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動スイッチを、どちら側にもしないでください。 ブームと作業台の機能トグルスイッチを、それぞれ作動してみます。



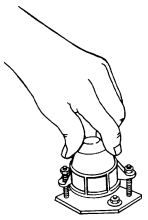
⊙ 結果：ブームと作業台の機能はなにも作動しません。

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。 ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります (搭載する場合)。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械：
ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

傾斜センサーのテスト



9 作業台の赤色非常ボタンを引いてオンにします。 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

10 タンク側のターンテーブルカバーを開いて、操作ボックスの横にある傾斜センサーを見つけます。

11 傾斜センサーの片側を押します。

⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。

補助制御のテスト

12 キースイッチを回して地上操作に切り替え、エンジンを停止します。

13 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

14 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。



注記： バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果： すべてのブーム機能が作動します。

作業台操作

非常停止のテスト

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替え、エンジンを再始動します。

16 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能はなにも作動しません。

17 赤色非常停止ボタンを引き、エンジンを再始動します。

作動油リターンフィルターのテスト

18 エンジンアイドリング セレクトスイッチを高アイドリング（ウサギマーク）の位置にします。

19 作動油フィルター状態を示す表示ランプを見つけ、チェックします。

⊙ 結果：フィルターは、緑のエリアにプランジャーあるいはニードルがある状態で作動する必要があります。

20 エンジンアイドリング セレクトスイッチ（ウサギおよびペダルスイッチ マーク）を高アイドリングの位置にします。

警報のテスト

21 警報ボタンを押します。

⊙ 結果：警報が鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

22 作業台非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

23 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。エンジンは始動しないでください。

24 ペダルスイッチを踏み、スタートトグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果：エンジンは始動しません。

25 ペダルスイッチを踏まないで、エンジンを再始動します。

26 ペダルスイッチを踏まないでください。 機械の各機能をテストしてください。

⊙ 結果：機能は作動しません。

機械機能のテスト

27 ペダルスイッチを踏みます。

28 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果：ブームあるいは作業台のすべての機能が、フルサイクルで作動します。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

機能テスト

ステアリングのテスト

29 ペダルスイッチを踏みます。

30 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネル上の青い三角が示す方向に押します。あるいは、走行/ステアリング コントロールハンドルを、青い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

31 ロッカースイッチを操作パネルの黄色い三角が示す方向に押します。あるいは、走行/ステアリング ハンドルを、黄色い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

32 ペダルスイッチを踏みます。

33 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、急停止します。

34 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果： 機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

振動軸のテスト （振動軸を搭載したモデル）

35 作業台操作でエンジンを始動します。

36 右のステアリングタイヤを 15 センチ（6 インチ）のブロックまたは歩道の縁の上に置きます。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

37 左のステアリングタイアを 15 センチ（6インチ）のブロックまたは留めぐつわの上に置きます。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

38 両方のステアリングタイアを 15 センチ（6インチ）のブロックまたは留めぐつわの上に置きます。

⊙ 結果：非ステアリングタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

走行機能システムのテスト

39 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

40 ブームが非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果： 走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



41 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

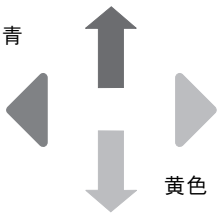
⊙ 結果： 走行機能は作動しません。

42 走行機能トグルスイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果： 走行機能が作動します。

注記： 走行機能システムを使用しているときに、機械が、走行およびステアリング コントロールハンドルを動かした方向と逆の方向に動くことがあります。

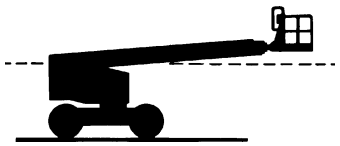
作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印を見ながら進む方向を確認してください。



走行制限速度のテスト

43 ペダルスイッチを踏みます。

44 ブームを水平より少し高く上げます。



45 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果： ブームが上昇した状態での最大走行速度は、秒速 30 cm を越えてはいけません。

46 ブームを下ろし収納します。

47 ブームを 30 cm 伸長します。

48 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果： ブームを伸長した状態での最大走行速度は、秒速 30 cm を越えてはいけません。

ブームを上げた状態あるいはブームを伸長した状態で走行速度が秒速 30 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

機能テスト

補助制御のテスト

49 エンジンを停止します。

50 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

51 ペダルスイッチを踏みます。

52 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブームおよびステアリング機能が作動します。 走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/走行セレクト機能のテスト（搭載する場合）

53 ペダルスイッチを踏みます。

54 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果：ブーム機能は何も作動しません。 機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

55 機械を操作する前にすべての故障箇所を修理してください。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。 作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険をさけてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、回避してください。

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人物の存在
- その他、危険の起こる可能性がある状態

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各機能ごとに説明しています。 安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

作業員や工具を高所作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順にすべて従わなければなりません。 すなわちオペレータが交替した場合と、次のオペレータは、機械を操作する前に操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを任意の方向に回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

ガソリン/LPG モデル

3 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に移動します。 エンジンが始動しなかったり停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。



ディーゼルモデル

3 グロープラグスイッチ (搭載している場合) をどちらか一方に動し、3～5 秒そのままにします。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に移動します。 エンジンが始動しなかったり停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

すべてのモデル

15 秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。再度始動する前に、60 秒間待ってください。

-6℃ 以下の低温の状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作を始める前に 5 分間エンジンを温めてください。

-18℃ 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。 気温が -18℃ 以下のときにエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

ガソリン/LPG モデル： -6℃ 以下の低温の状況では、機械をまずガソリンで始動し、2分間暖めてから、LPG に切り替える必要があります。 エンジンが温まると、LPG で始動することができます。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は、修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、作業台の赤色非常停止ボタンは地上操作により優先されます。

補助制御

主要電源（エンジン）が停止した場合、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 作業台から補助制御を操作する場合、ペダルスイッチを踏みます。

4 補助動力スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動します。



走行機能は、補助動力では作動しません。

操作手順

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPG モデル： 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける



1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。

2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPG モデル： 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。 エンジンを始動する時は、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械： ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリング

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 走行/ステアリング コントロールハンドルを青または黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。あるいは、走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークを見ながら、タイヤの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心からゆっくりと動かします。

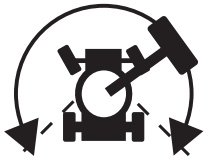
速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心に向かってゆっくりと動かします。

停止する： 走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

走行機能



表示ランプの点灯は、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

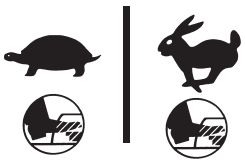
走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

必ず作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印を見ながら、機械の進む方向を確認してください。

エンジンアイドリングセレクト (rpm)

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング (rpm) を選択してください。

ペダルスイッチを踏んでいない場合、エンジンは低 rpm でアイドリングします。



- カメシンのマーク：ペダルスイッチによる低アイドリング開始
- ウサギのマーク：ペダルスイッチによる高アイドリング開始

発電機（搭載する場合）

発電機を操作するには、発電機トグルスイッチをオンの位置に動かします。 エンジンは作動し続けますが、走行機能またはブーム機能は作動しません。

工具の電源を作業台 GFCI コンセントに差し込みます。

機械機能を再開するには、発電機トグルスイッチをオフの位置に動かします。 全ての機能が作動できる状態になります。

エンジンチェックのランプ（搭載する場合）



ランプが点灯し、エンジンが止まった場合： 故障の張り紙を付けて作業を中止してください。

ランプが点灯し、エンジンがまだ作動している場合： 24時間以内にサービス担当者に連絡してください。

傾斜表示ランプ （搭載する場合）



機械が水平でない場合にランプが点灯します。 このランプが点灯している間、傾斜アラームが鳴ります。 機械を安定した平坦な地面に移動してください。

操作手順

作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点灯します。すべての機能が作動しません。

ランプが消えるまで、重量を作業台から取り除いていきます。

落下防止

この機械の操作時は、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

すべての PFPE が適合する法規に準拠しており、検査され、製品使用説明書の指示に従って使用される必要があります。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非ステアリングタイヤの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

輸送およびリフトの手順

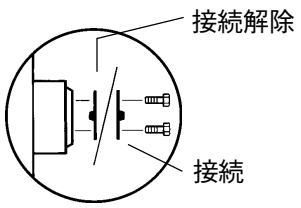
必ず従うこと：

- ☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、ストラップやラインが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。 機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。 操作を始める前にターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

ウィンチ用のフリーホイール構成

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2WD モデル：走行ハブ接続解除キャップを反して、非ステアリングタイヤのブレーキを解除します。



４WD モデル：4つの走行ハブ接続解除キャップをすべて反して、タイヤブレーキを解除します。

シャーシの荷締め個所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

再度ブレーキをかけるには、手順を逆に行います。

注記：フリーホイールポンプ弁は常に閉じた状態である必要があります。

輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送する時は、常にターンテーブル旋回ロックピンを使用してください。

輸送の前にキースイッチを オフの位置に回し、キーを取り外してください。

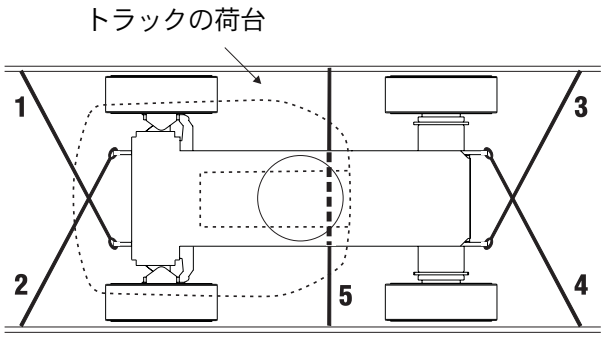
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか機械全体を点検します。

シャーシの固定

積載荷重量に十分耐えうるチェーンを使用してください。

最低 5 組のチェーンを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐためにリギンクを調節してください。



作業台の固定 - S-40

作業台回転の下にブロックを置きます。ブロックが作業台シリンダーに接触しないようにします。

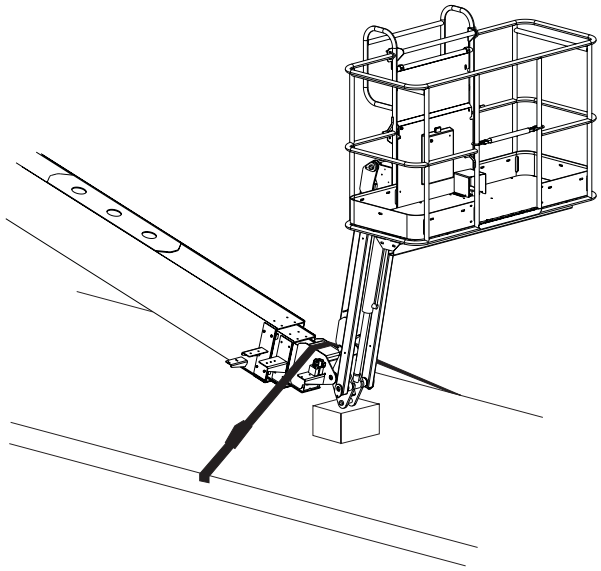
低い方の作業台サポートにナイロンストラップを通して、作業台を固定します。 ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

作業台の固定 - S-45

ジブナックルの下にブロックを置きます。ブロックが作業台シリンダーに接触しないようにします。

ジブナックルの上にナイロンストラップを渡して、作業台を固定します。 ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

輸送用にジブを完全に上げます。



必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやラインが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。 機械の重量はシリアルプレートをご覧ください。

リフトの手順

ブームを完全に下げて収縮します。 ジブブームを地面と平行に動かします。 機械に緩んでいる個所がないか確認します。

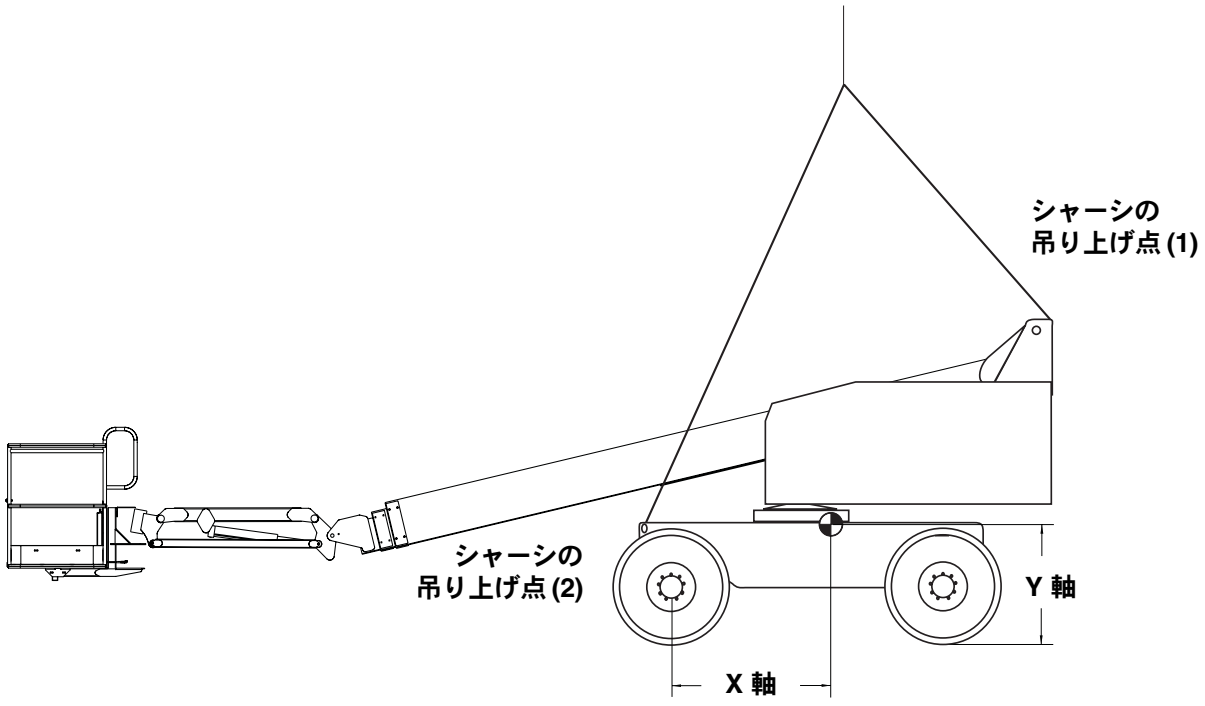
ターンテーブル旋回ロックを使って、ターンテーブルを固定します。

このページの表と図を使って機械の重心を確認してください。

リギングは、機械に指定されている吊り上げ点にのみ取り付けます。 吊り上げ点は、シャーシに 2 箇所、ターンテブールに 1箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保つためにリギングを調節してください。

	X 軸	Y 軸
S-40	1.34 m	98 cm
S-45	1.18 m	95 cm



ステッカー

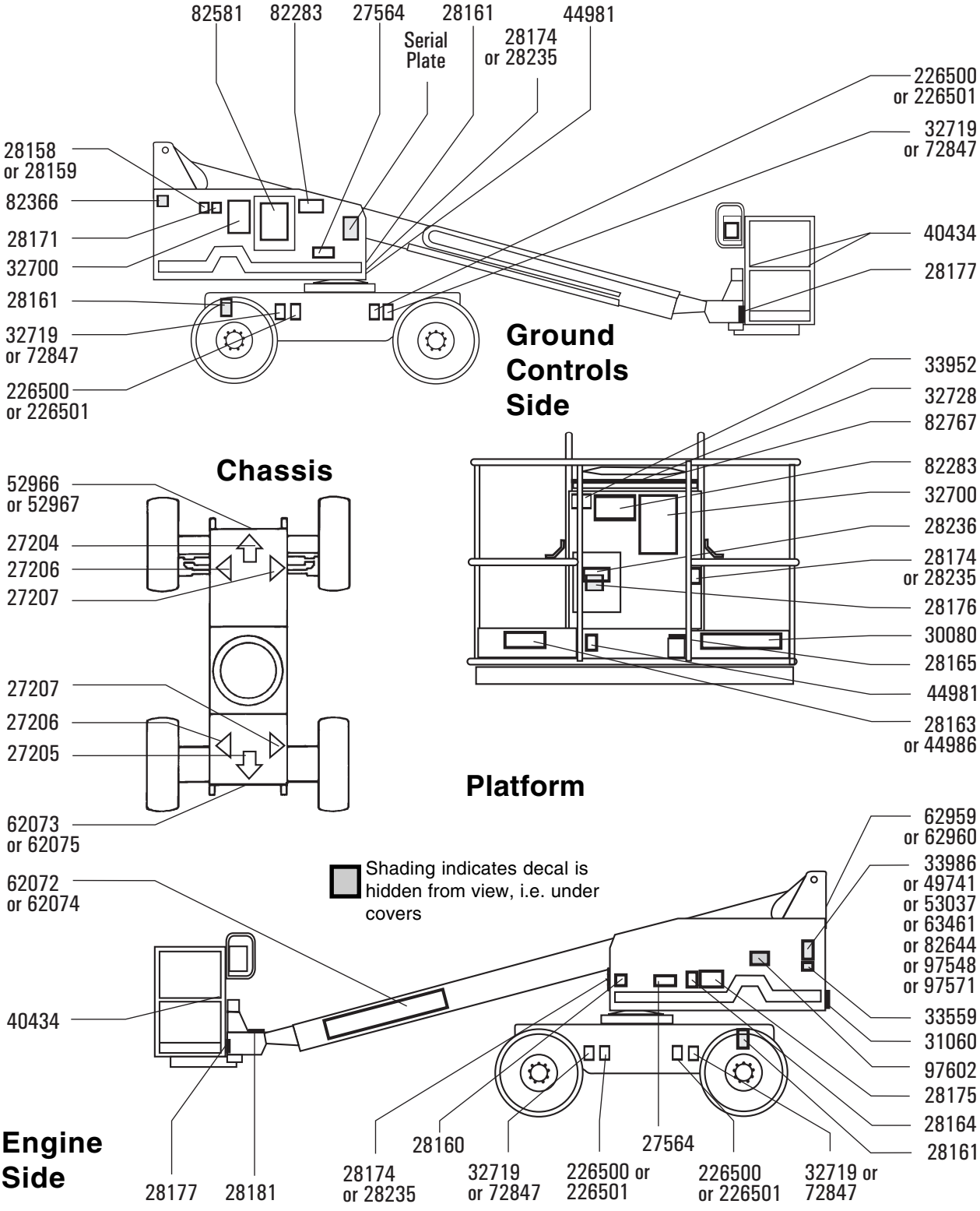
警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。 ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Decal Description	Quantity
27204	Arrow - Blue	1
27205	Arrow - Yellow	1
27206	Triangle - Blue	2
27207	Triangle - Yellow	2
27564	Danger - Electrocution Hazard	3
28158	Label - Unleaded	1
28159	Label - Diesel	1
28160	Label - Liquid Petroleum Gas	2
28161	Warning - Crushing Hazard	3
28163	Notice - Max Side Force, 150 lbs / 667 N	1
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot Switch	1
28171	Label - No Smoking	2
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Platform Rotate	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
30080	Notice - Max Capacity, 500 lbs / 227 kg	1
31060	Danger - Tip-over Hazard, Interlock	3
32700	Danger - General Safety	2
32719	Notice - Tire Specifications	4
32728	Label - Generator (option)	1
33952	Danger - Tilt-Alarm	1
33986	Notice - Deutz Diesel Engine Specs, 4 cyl	1

Part No.	Decal Description	Quantity
35599	Notice - Align Air Hoses	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	3
44981	Label - Air line to Platform	2
49741	Notice - Ford Engine Specs, LRG-425 EFI	1
52966	Cosmetic - 4 x 2	1
52967	Cosmetic - 4 x 4	1
53037	Notice - Deutz Diesel Engine Specs, 3 cyl	1
62072	Cosmetic - Genie S-40	1
62073	Cosmetic - S-40	1
62074	Cosmetic - Genie S-45	1
62075	Cosmetic - S-45	1
62959	Cosmetic - S-40	1
62960	Cosmetic - S-45	1
63461	Notice - Perkins Engine Specs	1
72847	Notice - Tire Specifications, Hi-Flotation	4
82283	Notice - Operating Instructions	2
82366	Label - Chevron Rykon	1
82581	Ground Control Panel	1
82767	Platform Control Panel	1
82644	Notice - Perkins Engine Specs	1
97548	Notice - Deutz Engine Specs	1
97571	Notice - Ford Engine Specs	1
97602	Warning - Explosion Hazard	1
226500	Label - Wheel Load, S-40	4
226501	Label - Wheel Load, S-45	4

ステッカー


82581
82283
27564
28161
44981
Serial Plate
28174 or 28235
226500 or 226501
32719 or 72847
28158 or 28159
82366
28171
32700
28161
32719 or 72847
226500 or 226501
40434
28177
Ground Controls Side
33952
32728
82767
82283
32700
28236
28174 or 28235
28176
30080
28165
44981
28163 or 44986
Chassis
52966 or 52967
27204
27206
27207
27207
27206
27205
62073 or 62075
Platform
62959 or 62960
33986 or 49741 or 53037 or 63461 or 82644 or 97548 or 97571
33559
31060
97602
28175
28164
28161
62072 or 62074
Shading indicates decal is hidden from view, i.e. under covers
40434
Engine Side
28177
28181
28174 or 28235
28160
32719 or 72847
226500 or 226501
27564
226500 or 226501
32719 or 72847

ステッカー

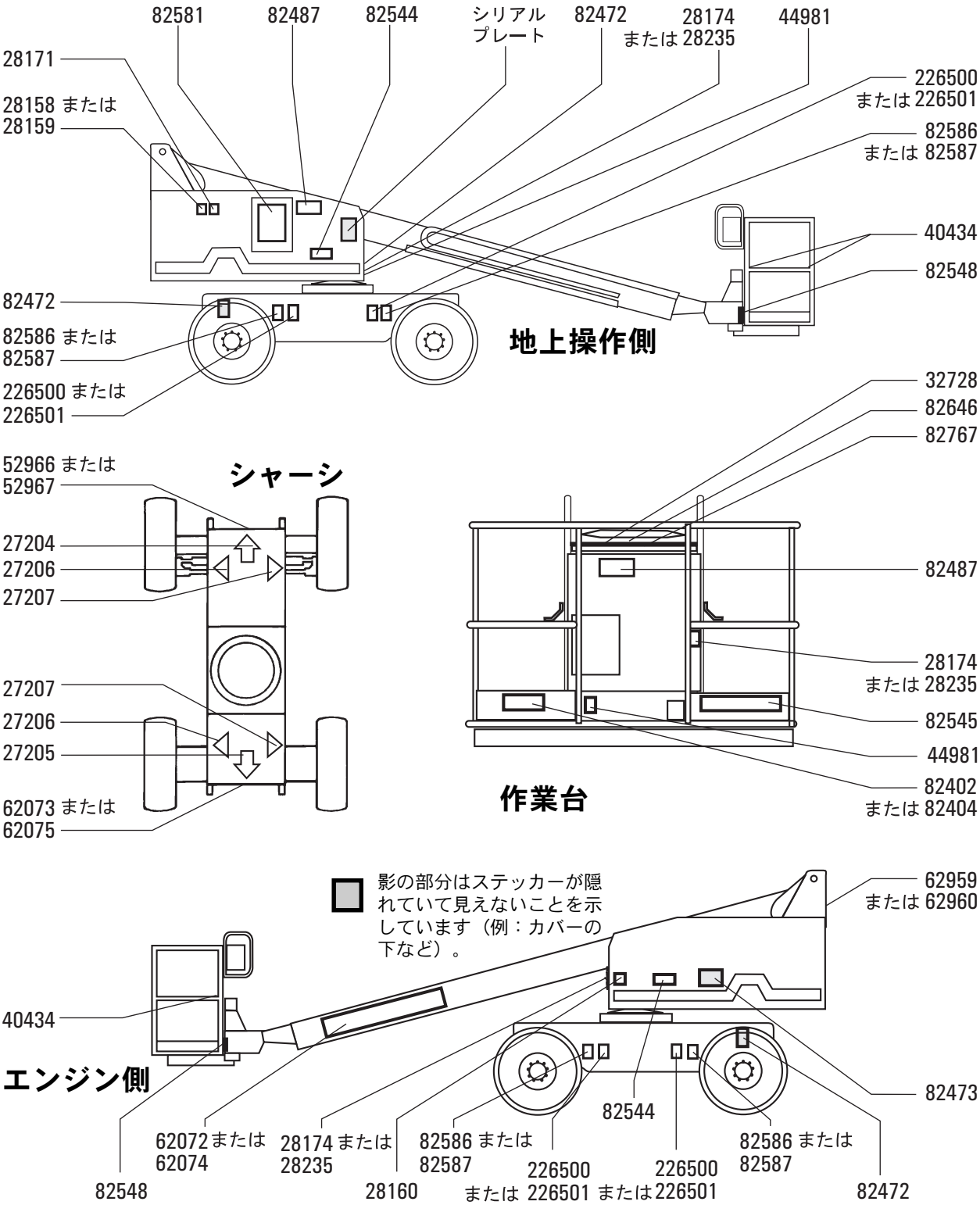
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。 ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 − 青	1
27205	矢印 − 黄	1
27206	三角 − 青	2
27207	三角 − 黄	2
28158	ラベル − 無鉛	1
28159	ラベル − ディーゼル	1
28160	ラベル - 液化石油ガス	1
28171	ラベル − 禁煙	2
28174	ラベル − 作業台への電力 230V	2
28235	ラベル − 作業台への電力 115V	2
32728	ラベル − 発電機 (オプション)	1
40434	ラベル − 安全帯固定箇所	3
44981	ラベル − 作業台への空気管	2
52966	外装 − 4×2	1
52967	外装 − 4×4	1
62072	外装 − Genie S-40	1
62073	外装 − S-40	1
62074	外装 − Genie S-45	1
62075	外装 − S-45	1
62959	外装 − S-40	1
62960	外装 − S-45	1
82472	警告 − 手のケガの危険	3
82473	要注意 − コンパートメントへのアクセス	1
82487	ラベル − 操作手順	2
82544	危険 − 感電の危険	3
82545	危険 − 最大積載量, 227 kg	1
82548	警告 − 作業台回転	2
82581	地上操作パネル	1
82586	ラベル − タイヤ空気圧	4
82587	ラベル − タイヤ空気圧、ハイフロテーション	4
82602	危険 − 最大外圧、 667 N	1
82604	危険 − 最大外圧、 400 N	1
82646	ラベル − 走行機能パッチ	1
82767	作業台操作パネル	1
226500	ラベル − 輪荷重、 S-40	4
226501	ラベル − 輪荷重、 S-45	4

影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

ステッカー


82581
82487
82544
シリアル
プレート
82472
28174
または 28235
44981
28171
28158 または
28159
226500
または 226501
82586
または 82587
40434
82548
82472
82586 または
82587
226500 または
226501
地上操作側
シャーシ
52966 または
52967
27204
27206
27207
27207
27206
27205
62073 または
62075
32728
82646
82767
82487
28174
または 28235
82545
44981
82402
または 82404
作業台
影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。
62959
または 62960
40434
エンジン側
82473
82544
62072 または
62074
28174 または
28235
82586 または
82587
82586 または
82587
82548
28160
226500
または 226501
226500
または 226501
82472

仕様

モデル：S-40	
高さ、操作時最大	14 m
高さ、作業台最大	12.2 m
高さ、作業台収納時最大	2.49 m
水平リーチ最大長さ	9.65 m
幅	2.29 m
奥行き、作業台収納時	7.29 m
最大積載荷重 6 フィート プラットフォーム	227 kg
最大積載荷重 8 フィート プラットフォーム	227 kg
ホイールベース	2.2 m
旋回半径 (外径)	4.78 m
旋回半径 (内径)	2.03 m
ターンテーブル回転 (度)	連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	86.4 cm
制御	12V DC 比例
作業台寸法、6フィート (長さ×幅)	1.8 m × 76 m
作業台寸法、8 フィート (長さ×幅)	2.4 m × 91 m
作業台レベリング	セルフレベリング
作業台回転	160°
作業台 AC コンセント	標準
登坂能力、収納時、2WD	30%
登坂能力、収納時、4WD	40%
最低地上高さ	31.8 cm

タイヤサイズ、2WD 前方タイヤのみ 後方タイヤのみ	 12.5L-16SL 12-16.5 NHS
タイヤサイズ、 2WDRT & 4WD 前方および後方	12-16.5 NHS
燃料タンク容量	91 リットル
油圧、最大 (ブーム機能)	179 バール
システム電圧	12V
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
騒音 標準的な作業場での最大音量 (騒音レベル)	80 dB

走行速度	2WD	4WD
走行速度、収納時 ガソリン/LPG モデル	時速 6.4 km 12.2 m/6.8 秒	時速 5.6 km 12.2 m/7.8 秒
走行速度、収納時 ディーゼルモデル	時速 5.6 km 12.2 m/7.8 秒	時速 4.8 km 12.2 m/9.1 秒
走行速度、 上昇または伸長時 - 全モデル	時速 1.1 km 12.2 m/40 秒	時速 1.1 km 12.2 m/40 秒

床荷重表	
GVW + 許容荷重	5608 kg
軸荷重、最大	4081 kg
輪荷重、最大	3040 kg
タイヤごとの局部圧力	4.6 kg/cm^2 448 kPa
車体使用面積当りの圧力	8.23 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

モデル： S-45	
高さ、操作時最大	15.5 m
高さ、作業台最大	13.7 m
高さ、作業台収納時最大	2.49 m
水平リーチ最大長さ	11.2 m
幅	2.29 m
奥行き、作業台収納時	8.5 m
最大積載荷重 6 フィート プラットフォーム	227 kg
最大積載荷重 8 フィート プラットフォーム	227 kg
ホイールベース	2.2 m
旋回半径 (外径)	4.78 m
旋回半径 (内径)	2.03 m
ターンテーブル回転 (度)	連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	86.4 cm
制御	12V DC 比例
作業台寸法、6フィート (長さ×幅)	1.8 m × 76 m
作業台寸法、8 フィート (長さ×幅)	2.4 m × 91 m
作業台レベリング	セルフレベリング
作業台回転	160°
作業台 AC コンセント	標準
登坂能力、収納時、2WD	30%
登坂能力、収納時、4WD	40%
最低地上高さ	31.8 cm

タイヤサイズ、2WD 前方タイヤのみ 後方タイヤのみ	 12.5L-16SL 12-16.5 NHS
タイヤサイズ、 2WDRT & 4WD 前方および後方	12-16.5 NHS
油圧、最大 (ブーム機能)	179 バール
燃料タンク容量	91 リットル
システム電圧	12V
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
騒音 標準的な作業場での最大音量 （騒音レベル）	80 dB

走行速度	2WD	4WD
走行速度, 収納時 ガソリン/LPG モデル	時速 6.4 km 12.2 m/6.8 秒	時速 5.6 km 12.2 m/7.8 秒
走行速度、収納時 ディーゼルモデル	時速 5.6 km 12.2 m/7.8 秒	時速 4.8 km 12.2 m/9.1 秒
走行速度、 上昇または伸長時 - 全モデル	時速 1.1 km 12.2 m/40 秒	時速 1.1 km 12.2 m/40 秒

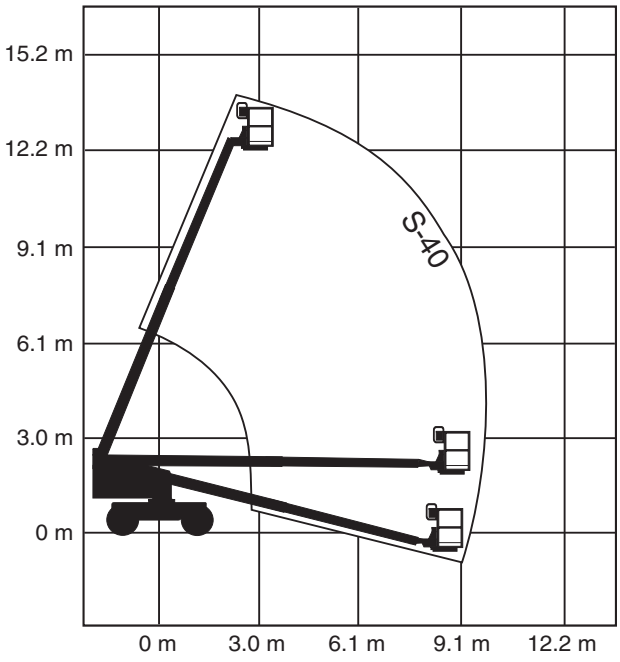
床荷重表	
GVW + 許容荷重	7378 kg
軸荷重、最大	6303 kg
輪荷重、最大	3855 kg
タイヤごとの局部圧力	4.6 kg/cm^2 448 kPa
車体使用面積当りの圧力	10.50 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

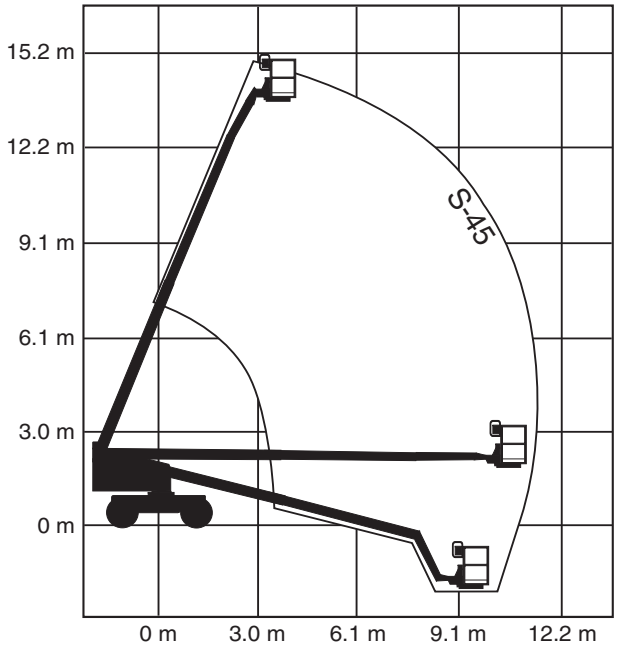
Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

S-40 動作範囲チャート



S-45 動作範囲チャート



代理店：

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー ダイアル 米国およびカナダ 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 556

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241